

モニタリング結果報告書

施設 設 青野原診療所、千木良診療所、藤野診療所

指定管理者 日本赤十字社

施設所管課 保健福祉部医療課

(平成21年度 上半期)

管理運営状況総括

1 月例報告書によるモニタリングの概況

報告月	受理日	確認通知日	備考(確認事項等)
4月	5/11	5/11	月報を確認、改善すべき業務は無し
5月	6/10	6/10	月報を確認、改善すべき業務は無し
6月	7/10	7/10	月報を確認、改善すべき業務は無し
7月	8/10	8/10	月報を確認、改善すべき業務は無し
8月	9/10	9/10	月報を確認、改善すべき業務は無し
9月	10/9	10/9	月報を確認、改善すべき業務は無し

2 指定管理者の選定理由にある取組み等の実施状況

(1) 提案内容の達成度

A: 提案を上回る B: 提案どおり C: 提案を下回る

(2) 実施状況等

<提案内容の概要>

ア 病診連携の強化 診療所から病院に中等症以上の患者を紹介し、高度医療機器による検査や開放病床の利用を図るとともに、病院から診療所に退院患者を逆紹介し、回復期の治療を行うなど診療所と病院の連携を強化し、高度かつ良質な医療を提供する。

イ 在宅医療の推進 津久井赤十字病院や訪問看護ステーションと連携し、診療所の医師及び看護師が患者宅に定期的に訪問して診療や看護を行い、在宅患者の居宅での質の高い生活の支援等を行う。

ウ 公衆衛生活動の推進 相模原市から受託された特定健診、乳幼児検診及び予防接種等を行い、地域住民の疾病予防と健康増進に寄与する。

<実施状況>

ア 津久井赤十字病院への紹介患者数 上半期 90名

逆紹介患者数 上半期 9名

大学病院等への 紹介患者数 上半期 51名

逆紹介患者数 上半期 9名

イ 訪問診療及び訪問看護の実施 延往診日数 上半期 200日

延患者数 上半期 420人

ウ 特定健診、乳幼児検診及び予防接種等の実施 延実施日数 上半期 187日

3 収支状況

(単位：千円)

		収入額			支出額	収支差額
		指定管理料	利用料金(前年 同月料金額)	その他収入		
年間予算額	265,478		265,478 (252,036)		264,578	900
上半期計 (a)	141,223		141,216 (137,853)	7	126,834	14,389
下半期計 (b)						
4月	30,103		30,103 (28,658)		25,592	4,511
5月	21,357		21,357 (21,065)		19,065	2,292
6月	22,564		22,564 (21,247)		24,092	△ 1,528
7月	22,474		22,474 (23,390)		20,007	2,467
8月	21,806		21,799 (21,817)	7	20,454	1,352
9月	22,919		22,919 (21,676)		17,624	5,295
合計 (a+b)	141,223		141,216 (137,853)	7	126,834	14,389

※上半期4月分の収入には、政策的医療交付金8,163,000円を含む

収支状況に関する意見等

特になし。

収支差額が1割以上の収入超過となっているが、県は政策的医療交付金（不採算である訪問診療に対する政策的な交付金8,163千円）を4月に一括して支払っているため、指定管理者としての収入に半期分多く加算されている。

(今期に行った資本的な収入及び支出の状況)

	内容	金額(千円)
収入の状況	該当なし	
支出の状況	該当なし	
積立等の状況	該当なし	(期首)
		(期末)

4 利用状況

(単位：人)

	利用者数				前年同月利用者数			
	新患	再来	往診	計	新患	再来	往診	計
上半期計 (a)	1,499	7,735	420	9,654	1,465	7,907	528	9,900
下半期計 (b)	0	0	0	0	0	0	0	0
4月	247	1,295	75	1,617	247	1,269	91	1,607
5月	251	1,225	70	1,546	255	1,281	79	1,615
6月	231	1,311	71	1,613	231	1,288	85	1,604
7月	224	1,315	65	1,604	279	1,425	92	1,796
8月	281	1,264	67	1,612	239	1,316	93	1,648
9月	265	1,325	72	1,662	214	1,328	88	1,630
合計 (a+b)	1,499	7,735	420	9,654	1,465	7,907	528	9,900

利用状況に関する意見等

〔 半期計欄の前年対比増減率が、1割以上プラス又はマイナスとなっている場合は、その理由を分析し記載するとともに、必要な場合は、対応策も併せて記載する。 〕

〔 特になし。 〕

5 苦情・要望等の状況

(施設受付分)

(施設所管課受付分)

報告月	口頭		文書			合計
	対面	電話	手紙	メール	アンケート	
4月	—	—	—	—	—	—
5月	—	—	—	—	—	—
6月	—	—	—	—	—	—
7月	—	—	—	—	—	—
8月	—	—	—	—	—	—
9月	—	—	—	—	—	—

報告月	口頭	文書	合計
4月	—	—	—
5月	—	—	—
6月	—	—	—
7月	—	—	—
8月	—	—	—
9月	—	—	—

6 特筆すべき苦情・要望等及び対応状況

〔 類似の苦情や要望が多く寄せられたもの、苦情や要望をもとに対応した取組みが利用者に評価されたもの、苦情や要望のうち対応したいと考えるが、諸般の事情により対応できないものなどを記載する。 〕

分野	概要	対応状況
施設・設備	・該当なし	
職員対応	・該当なし	
事業内容	・該当なし	
その他	・該当なし	

7 事故や不祥事等の発生状況

利用者や職員が死傷した場合、業務の実施において法令違反等による指導や処分を受けた場合及び個人情報や公金の管理等において不適切な取扱い等があった場合は、その概要と対応状況を記載する。なお、利用者の死亡事故や個人情報の流出等、重大な事故や不祥事が発生した場合は、行政システム改革推進課に任意の様式により速やかに報告書を提出する。

発生日	概要・対応状況等
月 日	該当なし
月 日	〃

8 随時モニタリングの実施状況

事故や不祥事の発生等に伴い、施設所管課が随時モニタリングを実施した場合は、調査内容や結果を記載する。

実施日	対応者等	経緯・調査内容	調査結果
該当なし			

9 上半期の所見等

1～8の各項目の状況等を踏まえ、指定管理業務をより効果的・効率的に推進する観点から、反省点や改善策等を記載する。

指定管理者	対前年度比において、一日当りの患者数は減となったが、診療単価は増となった。今後とも、在宅医療、訪問診療等プライマリーケア機能を担当し、地域住民に信頼される、地域に密着した医療の向上に努めたい。
施設所管課	指定管理者に指定されて以来、効率的な運営と患者サービスの向上に努め、地域に密着した医療機関としての存在価値は年々高くなっている。 上半期については、患者数は7月以外は前年度同時期とほぼ同数である。前年度の7月が他の月に比較して多かったため、総数は減であるがほぼ横ばいと言える。収入については前年度比増であり、患者数・収入の推移から見ると安定した運営をしている。 当診療所は、地域住民の健康や衛生環境向上のための中心的役割は高く、引き続き在宅医療等のプライマリーケア機能の担当として、地域住民に信頼される、地域に密着した医療の向上に努められることを期待したい。